

講義名	健康社会学		
科目区分	学科専門 必修		
担当教員	辻本 乃理子/水野 英和		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
備考			

**主題と概要**

私たちの社会では、「健康」は良いこととされているが、どのような状態が健康であるのか、どのようにすれば健康になれるのかということは一様ではありません。その考えはどこからくるのか、時代によって異なるのか、違いは何を意味するのか、追求するとおもしろい課題が実はたくさんあるのです。この講義では、健康と、健康とは切っても切れない関係にある医療について、批判的に読みといていきます。

**到達目標**

健康や医療という素材を通じて、社会に対する知識や認識を深めることが目標となります。

**提出課題**

講義中に課題の提出があります。レスポンドでコメントや質問を提出します。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

前週のレスポンド回答について教員からフィードバックし、知識を広く深く定着させます。

**評価の基準**

平常点（40%）、期末試験（60%）で総合的に評価します。

**履修にあたっての注意・助言他**

社会学の知識が必要になりますので、社会学基礎や社会学概論の履修を推奨します。講義では毎回Responというアプリを使用して、出欠を確認し、コメントの提出を行います。初回授業で指示するので、必ず出席し、速やかに準備を整えること。

<b>教科書</b>
. 使用しない。

**プリント資料及び参考文献**

講義時に資料を配布します。 参考文献： 中川輝彦・黒田浩一郎編著『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房、2500円、2012年

**授業計画**

第1部 健康を相対化する視点  
 第1回 オリエンテーション  
 第2回 健康を相対化する視点① 医療化  
 第3回 健康を相対化する視点② 医療専門職  
 第2部 健康と現代社会  
 第4回 食と健康  
 第5回 生活習慣と健康  
 第6回 都市環境と健康  
 第3部 健康とシニア  
 第7回 美容整形と瘦身  
 第8回 依存症  
 第9回 身体加工  
 第3部 性の健康  
 第10回 性と生の健康  
 第11回 性的同意  
 第12回 優生思想  
 第4部 健康と労働  
 第13回 労働法を知る  
 第14回 幸せに働く  
 第15回 全体のまとめ

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>	
	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/>	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

講義に出席するだけでは、十分な理解は得られません。知識として定着させるには、予習・復習は不可欠です。しっかり講義中にノートを取り、受講後は資料やノートを見直し、知識を整理し、わからないことを質問できるようにしておくこと。60時間。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

レスポンドを利用してコメント、質問を記入、提出します。VTRをみて感想を書いたり、ディスカッションしたりします。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**